

面から有用である。本市も内部告発、公益通報の制度化については、職員一人ひとりの自主的・主体的な法令遵守促進の取り組みを行う中で検討していく。

北部地域の都市計画道路路整備 (水曜会)

問 北部地域の都市計画道路として計画されている中島御幸線と万能倉上山守線、さらに近田万能倉線について、計画実現に向けた今後の見通しは。

答 北部地域の都市計画道路網の整備は、市あるいは県事業として取り組んできた。中島御幸線などの長期未着手路線については、社会情勢の変化などで現時点での事業化は困難であり、今後、都市計画道路の位置付けなどを県と協議していく。

なお、県道下御領新市線のバイパスとしての戸手岩成線の中野駅家線より東の事業化は、万能倉上山守線の事業化のかわりもあり、今後、県と協議していく。

◇関連質問

・生活道路安全対策について
(日本共産党)

市内の雨水・防災対策 (水曜会)

問 ①昨年の台風による被害の復旧状況は。

②千田ポンプ場の排出能力の見直しと合わせ、市内全域の浸水災害防止の取り組み方針は。

③災害時の危機管理意識の高揚に向けた避難訓練の実施状況は。

答 ①災害復旧の状況は、農林水産施設はすべての箇所を、また土木施設は9割を超える箇所を、本年6月末までに完了する予定である。



千田ポンプ場

小中学校の不登校 (水曜会)

問 小中学校の不登校に対する取り組み状況は。

答 昨年度の不登校児童生徒は、小学校131人(前年度比8人減)、中学校427人(前年度比34人減)。また、保健室・相談室などの別室に登校している児童生徒については、流動的だが昨年度小学校32人、中学校146人に改善傾向が見られた。

◇関連質問
・災害に強いまちづくりについて
(市民連合)

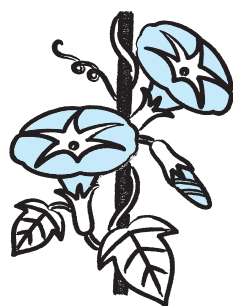
②雨水対策整備事業は、多額の費用と期間を必要とする事業であり、費用対効果などを勘案しながら事業を進めている。

今後とも、現計画を基本とし、施設の運転および維持管理に万全を期していく。

③現在75学区中61学区で自主防災組織が結成されており、昨年度は27学区延べ3977人が訓練に参加した。引き続き、自主的に訓練が実施されるよう指導、助言を行っていく。

その取り組みについては、スクールカウンセリングプロジェクト職員やスクールカウンセラーなどを配置して、不安や悩みを抱える児童生徒、保護者へのカウンセリングや家庭訪問などを行っている。未配置の小中学校については、スクールカウンセリングプロジェクトで担当する学校を定め、支援する連携体制をとっている。

◇関連質問
・スクールカウンセリングプロジェクトについて (緑風会)



平和行政・平和教育 (市民連合)

問 平和や人権について考えることは、憲法の理念を生かすことである。この間、人権平和資料館への小中学生の入館者減少に見ら